

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 2年 3月 6日

事業所名 三鷹市子ども発達支援センターくるみ幼児園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	コメント
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	17		・基準に基づき、設定されている。		・引き続き子どもが活動しやすい環境を整えていく。
	② 職員の配置は適切である。	10	7	・基準に基づき、配置されている。時と場合により、適宜対応している。	・体制不足で休暇が取りづらい ・状況により、少ないと感じる（同1通）	・子どもの生活、活動を保障するために、必要な体制を作っていく。 ・計画的に休暇が取得できるように、見通しを持った体制づくりをしていく。
	③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や、情報伝達等への配慮が適切になされている。	16	1	・クラス分けをしていることで、それぞれが理解しやすい空間を作り、生活に活かしやすい工夫がされている。		・各クラスの様子が、職員間で見られるよう、部屋をオープンにしている。 引き続き、子どもにとって分かりやすく生活しやすい環境づくりを心掛け、発達に応じて工夫をしていく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	16	1	・各部屋に水場もあり空調も整っているため清潔である。		・引き続き、過ごしやすい清潔な環境づくり、また工夫を心掛けていく。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	16	1	・計画、実行、確認、決定さらに振り返りに戻る必要性の説明を受けている。		・今後も各行事等の目標を明確化し、振り返りに多くの職員の意見が反映されるようにする。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	17		・評価の実施はされている。保護者からの意見等あれば改善に向け開示される場があると聞いている。	・改善につなげているかはわからない（同1通）	・保護者からの具体的なご意見と、改善策については職員間で共有し、またタイムリーに対応できるようにする。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	14	3	・園により、ホームページで公開・掲示されている。	・評価・改善の内容はホームページにはない？ ・今回から公開？	・昨年度は、書面で保護者の皆様にお伝えしたが、今年度は、お知らせの他、ホームページで公開を行う。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	8	8		・改善につなげているかはわからない。（同1通）	・専門家からの助言、指導、評価を積極的に受け、療育内容の工夫、改善につなげている。
	⑨ 職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保している。	15	2		・囑託は外部研修の機会がない ・全員が参加しているイメージがない。	・外部研修の情報は積極的に行い、時間内では定期的に研修を行っているが、研修のやり方、内容等を今後も工夫していく。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発	10	6	・個人面談を行い、保護者との間できちんと確認し、作成している。		・保護者の方と子どもの状況を共有しながら、支援計画を作成している。アセスメント情報を整理し、目標を具体的に設定、活用できるよう、

		達支援計画を作成している。					勉強会などを設定し、職員のスキルアップにつなげていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	15	1	・園でのねらい、グループでのねらいが設定されている。		・発達状況のアセスメントのため、定期的に心理療法士による発達検査を行っている。また、適応行動の状況のアセスメントには園独自のシートを使用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	17		・家庭訪問を行っている。 ・地域に向けての講座やセミナーもある。 ・園では公開日を設けている。		・個別支援計画には、発達支援、家族支援、地域支援と、子どもに必要な支援に応じて目標設定し支援を行っている。 ・家族支援については、家庭状況の変化に応じて、適宜保護者と面接し、課題を整理している。
適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	17				・個別の支援計画に沿って支援ができているか、確認しながら進めているが、子どもの変化に伴い、引き続き支援の工夫をしていく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	16	1		・(携わっていないが)園のねらいに添ったプログラムがあると理解している。	・活動プログラムは、全体、あるいは活動によっては、グループごとに立案し支援をしている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	15	2		・(携わっていないが)グループ変更などもあるため、工夫はされていると理解している。	・毎日繰り返されることで身につくことも多いため見通しを持って意欲的に過ごせるプログラムを生かしながら子どもの活動に応じてさらに経験の幅が広がるように工夫していきたい。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している。	16	1	・個別の支援計画はもちろん、グループのねらい、園でのねらいや目標があると理解している。		・基本となる集団活動の中で、必要に応じて個別的な関わり、対応を取り入れ、支援計画の中に反映している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	17		・朝の全体ミーティングをしている。		・療育開始前の打ち合わせを行い、子どもの様子、職員の動きの確認を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している。	17			・療育後のミーティングをして、グループからの報告や問題点などあれば話し合っている。	・療育終了後に反省会を行い、子どもの様子、支援の振り返りを行い、その他必要な情報の共有を行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	16	1	・グループ日誌がある。	・日誌には記録しているが、ビデオ撮り等はあまりできていない。	・グループごとの日誌に記録をし、支援の振り返りを行っている。 ・課題については、職員間で話し合いながら改善につなげているが、限られた時間で十分となっていない。時間の確保をしていきたい。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画見直しの必要性を判断している。	15	1		・年 1 回は定期的か？	・必要に応じて、3 か月、6 か月で見直しを行っている。職員全体に周知できるようにしていく。

	②①	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	16	1			・子どもの状況をよく知っている者が参加している。
	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	17		・カンファレンスには各専門の関係者が集まり、支援に向けて体制づくりがされている。		・総合保健センター、育成課、市内の関係機関と連携して支援を行っている。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	13	1	・各専門の関係者により、支援体制がつくられている。	・重心ではない	・医療的ケア児、重症心身障がい児の直接的支援は行っていないが、子どもの状況にあわせて必要な場合には、他機関と連携して支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	10	5	・主治医、医療機関は個人台帳に記載され、把握されている。	・重心ではない	・医療的ケア児、重症心身障がい児の直接的支援は行っていないが、子どもの状況にあわせて必要な場合には、医療機関と連絡を取ることがある。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	17		・保育園や幼稚園への巡回や交流体験や交流保育等で相互理解を深めている。		・保護者の承諾を得て、引継ぎを行っている。 ・移行支援として保育所等訪問支援も行っている。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	17				・移行先の支援に繋がるよう、保護者の承諾を得て引継ぎを行っている。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	11	6	・専門分野の先生方からのアドバイスを受けたり、スーパーバイザーによるご指導、研修を受ける機会がある。		・施設協議会また、区を中心とした地域療育連絡会に参加し、情報共有と連携を行っている。また、同会主催の研修会に参加している。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	16	1	・交流体験、交流保育があてはまると思う。		・交流保育、交流体験、訪問交流などで、地域の子どもたち同士が関わり合う機会を作っている。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	14	2		・参加したことはないが、担当職員が携わっていると聞いている。	・自立支援協議会は、計画参画の事務局として、携わっている。子ども・子育て会議には、委員として参加している。

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	17		・連絡帳でのやりとり朝と帰りの時間での伝達等		・日頃から保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。引き続き伝え合いを丁寧に行っていく。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	12	5	・兄弟姉妹参加の行事があり、家族内での理解を深めることはもちろん、他の家庭との関係もつながりをもつことができる。		・くるみ幼稚園では家族支援プログラムとして、専門療法の勉強会、茶話会、懇談会などの話し合いの場の設置をプログラムとして位置付けている。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	17		・入園説明会で、丁寧に説明があると聞いている。		・入園時に、また必要に応じて丁寧に説明している。
	③⑬	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	16		・個人面談を行い、保護者からの要望も聞いた上で、発達の段階に合わせた内容で作成し保護者の同意も得られていると思う。		・児童発達支援ガイドラインを踏まえた発達支援計画に沿って、個別支援計画の作成を進めている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	17		・個人面談		・日常的な相談、また、個人面談を通して、助言と支援を行っているが、継続的に経過を追うなどさらに工夫していきたい。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	17		・クラス懇談会や全体懇談会		・保護者同士のやりとりの機会、場などの設定し、内容をさらに充実していく。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	17			・ミーティング等で話し合いをする場がある	・面接や対応について、迅速かつ適切に対応できるよう今後も体制づくりを工夫していく。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	17		・園だよりを通して発信している。		・月に1度、園だよりを発行している。必要に応じて、掲示等を充実し、タイムリーに発信していきたい。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している。	17		・外部に持ち出さない工夫、キャビネット保管などを行っている。		・引き続き、十分に注意して行っていく。

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のために配慮している。	17		・連絡帳、お知らせなどを用いて、情報を伝えている。		・文字や絵を使用した視覚提示やジェスチャー。サインなどを用いて意思疎通、情報伝達を行っている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている。	9	7		・公開療育は住民対象ではない？	・運動会、卒園式に運営協議会の地域代表としての委員を招待している。地域を支援していただいている民生児童委員の方の見学も行っている。今後も地域に開かれた事業運営について考えていく。
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	17		・通常の活動の中で訓練ができている。	・周知はしているが、訓練を十分に行いたい。	・定期的に訓練を行ったり、訓練の状況をお伝えしているが、訓練を通して、常に想定を超える事態を考えながら、十分に備えていきたい。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難救出その他必要な訓練を行っている。	17		・通常の活動の中で訓練ができている。		・訓練を重ねながら、非常時に迅速に避難出来るよう、さらに備えていきたい。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	16	1	・個人台帳に記載され共有できている。		・非常時に備え、入園前に個別に面談を行い主治医からの指示を受け保管している。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている。	17			・栄養士の先生からの説明を受けている。	・医師の指示書に従い、保護者との確認のもと対応をしている。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	14	3	・ファイリングされ、共有できるようになっている。	・あると思うが、見たことがない	・ヒヤリハットが起きた場合の情報共有は迅速に行っている。ヒヤリハット事例集は作成しているが、職員間で共有できるように周知していく。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	15	2		・（参加はできていないが）研修や資料はあったと聞いている。	・年度始めに会議の中で研修を行っている。資料は職員全員が持っている。更なる周知をはかりたい。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	14	2		・成長過程において必要であれば、保護者に説明して行うこともあると聞いている。	・基本的に身体拘束を手段や方法とすることはなく、身体拘束は行わない支援となるように確認をしているが、万が一行わざるを得ない状況があれば、必要性について保護者と確認している。